



# きらめく風

すすんで学ぶ子ども 心ゆたかな子ども 体をきたえる子ども

## 「平成記念樹」紅梅白梅

旭町小学校長 道山 正史

正門をくぐって、すぐ右手の上方に「平成記念植樹」という石碑とともに、紅梅と白梅が対になって植えられています。この梅の木は、平成になってすぐに、「平成」になった記念として、すべての練馬区立小中学校に配られ、植えられたと記憶しています。なかには枯れてしまった学校もあるやに聞いていますが、幸い旭町小学校の梅は美しく咲き誇っています。つまり約30年の間、40周年、50周年、60周年と、この梅の木は学校を見つめてきたということなのです。

さて、1年の締めくくりの月を迎えました。先日「6年生を送る会」を行いました。例年のごとく、6年生と1年生のほほえましい光景が随所で見られ、また、5年生を中心とする下級生たちの6年生の卒業をお祝いしようという気配りと頑張りに感動しました。そして、お礼にと6年生は完成度の高い「U.S.A.」の踊りと演奏を見せてくれました。

「6年生を送る会」が終わると、いよいよ5年生が最上級生としての役割を担います。たてわり班の班長として、地区班の班長として、毎日の校旗掲揚・降納、などなど、たくさんの学校の顔としての役割です。これから1年間、旭町小学校の伝統である、異学年交流における最上級生の役割をしっかりと受け継いで役割を果たし、来年の「6年生を送る会」にも、にこやかでほほえましい光景が見られることを期待したいと思います。1年間の大役を5年生に引き継いだ6年生の「平成」最後の卒業式を3月25日に行います。立派な姿で巣立っていくことでしょう。素晴らしい6年生でした。心からお祝いします。そして、梅にかわって桜が卒業生を見送り、新1年生を迎えるのです。

今年度の教育活動にあたり、保護者・地域の皆様、関係諸機関の方々には、ご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

